



日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

発行：2022年1月 No.12

BOOMERANG

ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同いただける方へのご入会促進メッセージでもあります。この機会に是非ご入会を検討いただければ幸甚です。

～地区70周年と歩む賛助会～

会長 木村 耕三



平素は日本ボーイスカウト川崎地区賛助会にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭様を持ちましてボーイスカウト川崎地区賛助会の運営につきまして順調に遂行しております。これも会員の皆様のお陰と衷心より御礼申し上げます。令和3年は川崎地区発足70周年の記念すべき年でありました。川崎地区は1950年（昭和25年）に川崎第1隊が発足し、翌年の1951年に川崎地区委員が結成されました。

当賛助会は1984年（昭和59年）に「川崎地区財政基盤強化」を目的に設立されました。爾来37年間にわたり川崎市内のボーイスカウト運動を助成する目的で、川崎地区に財政面での賛助を行っております。事業としましては、ピーパー祭り、地区ラリー、白梅隊、GATC、ポルチモア交流、日本ジャンボリーなど20余の事業にこれまで2,000万円の賛助をおこなうことが出来ました。これも会員の皆様のご協力ご支援の賜物とこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

川崎地区ではスカウトの登録人数は上向きに推移しており、今後も賛助会といたしましても収入を図り更なる財政支援を行って参りたいと考えております。

コロナ禍によりスカウト活動が停滞しております。スカウトたちがコロナ前の元気で楽しい活動ができれば2022年当初には、コロナ沈静化が進みスカウト活動が活性化することを願って止みません。

会員の皆様には今後ともご支援ご協力を賜ります様衷心よりお願い申し上げます。

【過去10年に賛助金を出した事業の成果】

■Baltimore-川崎姉妹都市スカウト国際交流 国際委員(川崎第56団) 堂本 暁生

第1回派遣(1985)から36年間のスカウト相互交流が続いています。私は、機会があり第1回派遣から9回程、参加をさせて頂きました。

第2回派遣は、ポルチモアから川崎に初めて派遣隊長としてウィリアム・ジャコブス博士が8名のスカウト供に川崎へ9NJ参加、山中キャンプ、富士登山、など日本のスカウティングに賛美を称えました。

翌年(1987)第3回派遣隊(近江隊)のプログ

ラムにBSA所有広大なブロードクリークキャンプの参加を組み入れてくれました。彼はこのスカウト



交流プログラムの基盤を作った立役者のひとりだと思います。それから現在までこの交流スカウトプログラムが継続され、デ

ータによれば渡米した川崎のスカウト・リーダーは、約210名、来日したポルチモアのスカウト・リーダーは、203名、日米の相互ホストファミリーが約440名、来日キャンプ(ファニーベアーキャンプ)

の参加スカウト・リーダー、スタッフ約237名、このプログラムに携わった人々は、延べ1,100名以上になります。長い交流の成果であると思います。

これはスカウト交流ですが参加スカウトの中には、この交流がきっかけでアメリカへ渡り活躍をしている人もいます。

第9回(1993年)派遣に参加した折笠彰スカウトは、自分の夢を追い渡米、ハリウッド映画の特撮を制作する会社に就職しました。映画スターウォーズの制作に携わり家族を持ち米国で活躍をしています。たくさんの方が自身の人生の指針のヒントになったと思います。



この素晴らしいプログラムに参加した沢山のスカウトは、人生に残る特別な思い出を持ったと思います。

このスカウト相互交流には、多額の費用が掛かります。それを支えてくれたのが川崎地区賛助会です。渡米、来日の費用サポートを長年に渡り賛助していただいている事は感謝に堪えません。賛助会のサポートがなければ交流プログラムの成功はなかったと思います。

これからもスカウト交流プログラムが永く成功するためにご支援の程、宜しくお願い致します。

■白梅隊・ゴールデンアックストレーニングコース(GATC)

川崎地区委員長 北條 賢一

白梅隊はボーイ隊の集合訓練として1958(昭和33)年に多摩川河川敷にて実施された記録が残っております。そこから青少年の家、那須野営場、南多摩RC、御所見の森野営場、宇奈根キャンプ場を経て、現在はその形態を移動野営へと時代に合わせ変貌を遂げてきました。実施時期や場所が変わってもボーイ隊のスカウトにとっては仲間を増やす地区という大海であることは今も変わりません。



過去10年間の白梅隊

2011年40期	宇奈根キャンプ場	隊長 安藤 聡	川崎43団
2012年41期	御所見の森野営場	隊長 岩永成央	川崎40団
2013年42期	宇奈根キャンプ場	隊長 藤田陽太	川崎39団
2014年43期	地蔵山野営場	隊長 大和田敦史	川崎43団
2015年44期	移動キャンプ	隊長 井上 景	川崎39団
2016年45期	移動キャンプ	隊長 井上 景	川崎39団
2017年46期	移動キャンプ	隊長 井上 景	川崎39団
2018年47期	移動キャンプ	隊長 井上 景	川崎39団
2019年48期	移動キャンプ	隊長 宮本琢也	川崎49団

2020年 中止

2021年49期 移動キャンプ 隊長 宮本琢也 川崎49団

ゴールデンアックストレーニングコースは全国に名をとどろかすベンチャー(シニアー)年代の集合訓練です。白梅隊やジャンボリーで出会ったスカウトが再び共に活動することで川崎地区を背負って立つスカウトへと成長していきます。1973年神奈川



連盟としてゴールデンアックスは誕生しますが、その後1977年に各地区へと広がりを見せました。令和という時代にゴールデンアックスが現存するのは川崎地区だけとなって

おり、今後もたくましいスカウトが育ってくれることを期待しています。

過去10年間のGATC

2011年22期	隊長 境 紳隆	川崎40団
2013年23期	隊長 池村重信	川崎3団
2015年24期	隊長 渋谷健太郎	川崎46団
2017年25期	隊長 渋谷健太郎	川崎46団
2019年26期	隊長 保坂陽太	川崎39団
2021年27期	隊長 井上 景	川崎39団

■川崎地区ラリー

川崎地区委員長 北條 賢一

ボーイスカウト川崎地区70周年を期にここ10年の地区ラリーを振り返ってみました。

スカウトラリーは一年に一度、川崎市の全スカウト関係者が集まる貴重な機会として、たくさんの思い出を作っていました。賛助会の助成により、参加費を抑えながら運営できることに改めて感謝申し上げます。過去にはチャレンジラリー、インディアンズラリーなど野営・行事委員会を始めとした各種委員会が中心になり企画・運営をしてきました。



そして近年では各団から集まっていた実務委員を中心に団ごとの個性あるプログラムにより集まったスカウトが思い思いに楽しんでおります。

2020年春に始まった新型コロナウイルスの蔓延により緊急事態宣言が

発せられ、昨年今年と計画していた70周年事業は残念ながら実施できない状況であります。しかしようやく感染者も減少傾向になりようやく普段の生活がもどつつあり、野外でのスカウト活動再開され始めております。地区ラリーの本来の姿である、一

年の一度川崎市のスカウトが顔をそろえることができるように願っております。来年2月の70周年記念式典が無事開催され、そのきっかけになることを楽しみにしております。

- 2011年9月25日(日) 等々力緑地催物広場
～台風接近の影響により中止
- 2012年9月23日(日) 生田緑地
- 2013年10月27日(日) こどもの国
神奈川連盟「神奈川スカウトラリー2013」
- 2014年9月28日(日) 生田緑地
- 2015年9月27日(日) 生田緑地
- 2016年9月25日(日) 中原平和公園
- 2018年2月4日(日) 幸市民館ホール
- 2019年9月23日(日・祝) 生田緑地
- 2019年9月22日(日) 中原平和公園
- 2020年 地区70周年事業
～新型コロナウイルス、緊急事態宣言により中止
- 2021年10月3日(日) こどもの国
～新型コロナウイルス、緊急事態宣言により中止

【川崎地区活動紹介】

■ B-K バーチャルスカウト交流 国際委員長 西角恵輔

コロナ禍の状況で、ポルチモアと川崎の間のスカウト交流が滞って2年が過ぎました。「去る者日々に疎し」と申しますが、顔を付き合わせての交流が長期間途絶えますと、交流の熱量が下がってしまうことも否めません。一方で、リモートワークのためのウェブ会議が普及し、1万キロ離れていても、すぐに顔を付き合わせてコミュニケーションを取れるツールが気軽に使えるようになりました。

川崎の過去に派遣隊に参加したボーイスカウト、ガールスカウトメンバーを中心に「Blue Crab」という名でグループを編成し、ポルチモア3776隊のメンバーとウェブ会議でバーチャル交流を企画・実施しました。

Blue Crabは8月28日に参加募集した中学生以上のスカウトに対して、事前交流会を実施して翌日のバーチャル交流会に備えました。交流当日の8月29日は会話が途絶えないよう写真やトピックを事前に用意して、スムーズな運営に気をつけながら、成功裡にバーチャル交流会を実施することができました。

リーダーはスカウトとは別の部屋にて、両方のOBも参加して、派遣の歴史を編集した動画を見ながら、思い出を振り返り、交流することができました。

このようバーチャル交流はコロナ禍で有効だけでなく、様々な年代のスカウトに、国際交流の楽しさやアメリカ文化やスカウティングへの興味を喚起して、より幅広いスカウトにこの素晴らしい交流に参加いただくきっかけになると考えます。

今後も継続して実施し、より一層の交流の活性化を計って参ります。



【特別寄稿】

■川崎地区70周年記念誌を編纂して 川崎地区協議会長 境 紳隆

日本ボーイスカウト川崎地区は、令和3年(2021年)11月21日を以て「地区設立70周年」を迎えました。それを記念して「地区創立70周年記念誌」の編纂を行っております。記念誌編纂作業においていろいろと目にした事柄の中から、私見ではありますが「これは面白い」と思った物を少しだけ紹介させていただきます。



地区創立30周年記念誌の中に次のような記載があります。「昭和25年5月、川崎市青少年補導連盟(現川崎市青少年育成連盟の前身)田島支部子供会指導者講習会の会場を一人の人物が訪問し、名刺代わりの紙切れに『あなたの(旧制)中学の後輩であります。』と書いて小清水黄二支部長に手交し対面しました。」その人物が、神奈川連盟の県コミッショナー山田利雄氏(元川崎第39団団委員長)でした。

二人は意気投合し、程なく小清水氏はその活動の軸足をボーイスカウト運動に移し、川崎第3隊(※)の発隊を果たすと共に、川崎地区委員長、協議会長を歴任して川崎地区の礎を築き、更には神奈川連盟の理事長、副連盟長として長く奉仕されました。

今は大分様相が異なりますが、私が子供の頃川崎市は京浜工業地帯の中核都市でした。記念誌には、スカウトクラブ幹事の渡部公氏(元川崎第39団)が寄稿して下さっていますが、川崎に所在する大会社の若年社員の教育にボーイスカウトが大きな役割を果たした時代がありました。日本鋼管川崎製鉄所には、日本初の企業隊として第6隊~10隊が、富士通には第18隊~20隊が、三豊製作所には第27隊が、日本電気玉川工場には第31隊が、そして昭和電工系列の日本オレフィン化学川崎工場には第34隊がありました。企業が新規採用の中心

を大卒者に移行させると共に、工場を地方へ移転させたりする中で、川崎地区の企業隊は姿を消して行きました。

※昭和33年頃までは「隊制」でしたので、「団」ではなく「隊」を用いています。

■賛助会員の分布（2021年11月末日現在）

準会員	10名
個人会員	98名（議員22名含む）
団体会員	14 団体
法人会員	13 法人

■理事会報告

第204回 6月13日（日）13:30~15:30

- (1) 2021年度の賛助金関連
- (2) 総会報告（書面開催、全会員郵送）
- (3) 地区の近況報告
- (4) ブーメラン誌の発刊（12号発刊済み）
- (5) 会員増強
- (6) 2021年度神奈川連盟
 - ・県連特別有功章 4名
 - ・隊長表彰 1名
 - ・かっこう章 1名
 - ・たか章 1名

第205回 9月12日（日）13:30~15:30

- (1) 2021年度の賛助金関連
- (2) 会費未納者状況と再請求方法
- (3) 2021年度予算状況
- (4) 地区の近況報告
- (5) ブーメラン誌の発刊について
- (6) 会員増強
- (7) 理事の増員

■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・準育成会員（年会費） ー□ 2,000円
- ・個人会員（年会費） ー□ 5,000円
- ・団体会員（年会費） ー□ 10,000円

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

◆お問い合わせ：賛助会事務局：鈴木

- ・E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org
- ・ホームページ：
<http://www.scout-kawasaki.org/sanjokai/index.html>

日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

検索

●編集後記

コロナ禍で活動が制約されているが、川崎地区の70年間における先人が築いた礎をさらに育てようじゃないか。そして笑顔が満ち溢れる川崎地区にしていこうじゃないか。この特集に携われたことに感謝（H）

【法人会員のご紹介】 順不同・敬称略

富士高圧ガス工業株式会社 神奈川県川崎市鋼管通 代表 谷屋 利隆	株式会社 テタケ 神奈川県川崎市中原区新城 代表 出竹 博文	株式会社 沼崎商会 東京都世田谷区尾山台 代表 沼崎 匡一
日本エード株式会社 東京都中央区日本橋本石町 代表 小清水 克臣	株式会社 上作商店 神奈川県川崎市高津区向ヶ丘 代表 手塚 功	株式会社 清水製作所 山梨県北杜市長坂町 代表 清水 鐵朗
ドリームキッズさぎぬまナーサリー 神奈川県川崎市宮前区鷺沼 代表 富山 純江	岡田信司税理士事務所 埼玉県鶴ヶ島市 代表 岡田 信司	呉エンジニアリング有限公司 神奈川県川崎市中原区中丸子 代表 野沢 義幸
特定非営利法人 子育てを応援する会 神奈川県川崎市高津区末長 代表 飯野 道子	コパロン株式会社 宮城県仙台市宮城野区扇町 代表 長澤 清	株式会社 保育所ひまわり 神奈川県川崎市幸区小倉 代表 耳田 英恵
株式会社 アヴォン 保育所 ビッコリ・アンジェリ 川崎市高津区末長 代表 青木 しづ子		